

設計調書： ⑬ 仮設構造物詳細設計

仮設構造物詳細設計調書（土留工・支保工）（1 / 6）

業 務 名			
構造物名		受注者名	
所 在 地		照査技術者	
施工箇所		管理技術者	
事務所名		作成年月日	

[設計調書は、類似構造物（同条件、同タイプ）のうち代表的なものについて記入する。]

構造物名	代表名	類似構造物																																																								
<div> <div>(断面図)</div> <div>(ボーリング図)</div> </div>		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>層厚</th> <th>N</th> <th>r</th> <th>c</th> <th>ϕ</th> <th>種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>I</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>II</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>III</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>IV</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>V</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>VI</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>VII</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 土の種類は次のとおり。 ①砂質土 ②粘性土 $N > 5$ ③粘性土 $N \leq 5$ 2. ボーリング図の出典を記入すること。 3. 水位を明示すること。 4. 設計地盤面を明示すること。 5. 土留杭の施工方法を明示する。 6. 近接する地中、地上支障物件を明示する。 7. 切梁設置時の予掘深さを明示する。</p>	区分	層厚	N	r	c	ϕ	種類	I							II							III							IV							V							VI							VII						
区分	層厚	N	r	c	ϕ	種類																																																				
I																																																										
II																																																										
III																																																										
IV																																																										
V																																																										
VI																																																										
VII																																																										
<div>(平面図)</div>																																																										

仮設構造物詳細設計調書（土留工・支保工）（2／6）

項 目			設 計 結 果		備 考
			計 算 値	使 用 値	
土留工（自立式・支保工式）	親杭	土留方杭	根 入 長※ ¹		※ ¹ 1.5m以上（岩盤の場合別途）
			断 面 寸 法※ ²		※ ² H-300以上
			応 力 度		
			支 持 力		
			最 大 変 位		
	等	土留板	断 面 寸 法※ ³		※ ³ 3.0cm以上
			応 力 度		
	鋼矢板方式等 <small>（柱列式土留含む）</small>	根 入 長			
		断 面 寸 法※ ⁴			※ ⁴ III型以上（鋼矢板の場合かつ市街地の場合）
		応 力 度			
最 大 変位※ ⁵				※ ⁵ 30cm以内（鋼矢板の場合）	
支保工	腹起し 段目	間 隔※ ⁶			※ ⁶ 垂直3.0m程度以下、頂部より1 m程度以内（無覆工の場合を除く）
		断 面 寸 法※ ⁷			※ ⁷ H-300以上
		応力度及び安全度			
	切はり 段目	間 隔※ ⁸			※ ⁸ 水平5.0m以下、垂直3.0m程度以下
		断 面 寸 法※ ⁹			※ ⁹ H-300以上
		応力度及び安全度			
	火打ち	断 面 寸 法			(注 ¹)：次の計算ケースより決定されたものを選ぶ。 (a) 掘削完了時 (b) 最下段切はり設置直前 (c) 撤去時 (d) 盛替時
		応 力 度			
	中間杭	間 隔			(注 ²)：次の計算ケースより決定されたものを選ぶ。 (a) (つりあい深さ) ×1.2以上 (b) ボイリングに対する必要長 (c) ヒーピングに対する必要長 (d) 3.0m以上
		断 面 寸 法			
支 持 力					
特記事項					(注 ³)：「建設工事公衆災害防止対策要綱」による。

仮設構造物詳細設計調書（締切工）（3／6）

業 務 名			
構造物名		受注者名	
所 在 地		照査技術者	
施工箇所		管理技術者	
事務所名		作成年月日	

[設計調書は、類似構造物（同条件、同タイプ）のうち代表的なものについて記入する。]

構造物名	代表名	類似構造物																																																								
<div> <div>(断面図)</div> <div>(ボーリング図)</div> </div>		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>層厚</th> <th>N</th> <th>r</th> <th>c</th> <th>ϕ</th> <th>種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>I</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>II</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>III</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>IV</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>V</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>VI</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>VII</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 土の種類は次のとおり。 ①砂質土 ②粘性土 $N > 5$ ③粘性土 $N \leq 5$ 2. ボーリング図の出典を記入すること。 3. 水位を明示すること。 4. 設計地盤面を明示すること。</p>	区分	層厚	N	r	c	ϕ	種類	I							II							III							IV							V							VI							VII						
区分	層厚	N	r	c	ϕ	種類																																																				
I																																																										
II																																																										
III																																																										
IV																																																										
V																																																										
VI																																																										
VII																																																										
(平面図)																																																										

仮設構造物詳細設計調書（締切工）（4／6）

項 目			設 計 結 果		備 考	
			計 算 値	使 用 値		
締切工	自立式	チャンの式	根 入 長 ^{※1}		※1 仮想地盤面 + π / β 又は $2.5 / \beta$	
			断 面 寸 法 ^{※2}		※2 II 型以上 (公衆に係わる区域においてはIII型以上)	
			応 力 度			
			最大変位 ^{※3}		※3 自立高の3%以内	
		モーメント釣合法	根 入 長 ^{※4}		※4 (つりあい深さ) × 1.2以上	
			断 面 寸 法 ^{※5}		※5 II 型以上	
			応 力 度			
			最大変位 ^{※6}		※6 自立高の3%以内	
	二重切方式	設計対象水位	仮締切天端高			
			締切幅	セン断変形破壊		
				滑 動		
				基礎地盤の支持		
				円弧すべり		
		鋼矢板	根 入 長 ^{※7}		※7 受動モーメント=安全率×主働モーメント 又は, 3. 0m以上で, どちらか大きい方	
			断 面 寸 法 ^{※8}		※8 III型以上	
			応 力 度			
		引張材	間 隔			
			材 質			
			断 面 寸 法 ^{※9}		※9 最小28mm	
			応 力 度			
		腹起材	断 面 寸 法			
			応 力 度			
			遮水効果	浸 透 路 長		
特記事項						

仮設構造物詳細設計調書（路面覆工・仮橋工）（5／6）

業 務 名			
構造物名		受注者名	
所 在 地		照査技術者	
施工箇所		管理技術者	
事務所名		作成年月日	

[設計調書は、類似構造物（同条件、同タイプ）のうち代表的なものについて記入する。]

構造物名	代表名	類似構造物																																																								
<div> <div>(断面図)</div> <div>(ボーリング図)</div> </div>		<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>層厚</th> <th>N</th> <th>r</th> <th>c</th> <th>ϕ</th> <th>種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>I</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>II</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>III</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>IV</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>V</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>VI</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>VII</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> <p>(注) 1. 土の種類は次のとおり。 ①砂質土 ②粘性土 $N > 5$ ③粘性土 $N \leq 5$ 2. ボーリング図の出典を記入すること。 3. 水位を明示すること。 4. 設計地盤面を明示すること。 5. 土留杭の施工方法を明示する。 6. 近接する地中、地上支障物件を明示する。 7. 切梁設置時の予掘深さを明示する。</p>	区分	層厚	N	r	c	ϕ	種類	I							II							III							IV							V							VI							VII						
区分	層厚	N	r	c	ϕ	種類																																																				
I																																																										
II																																																										
III																																																										
IV																																																										
V																																																										
VI																																																										
VII																																																										
<div>(平面図)</div>																																																										

仮設構造物詳細設計調書（路面覆工・仮橋工）（6／6）

項 目			設 計 結 果		備 考
					計 算 値
路面覆工	設計荷重（対象車輛）				※ ¹ L／400（Lは支間）以下，2.5cm以下
	覆 工 板 寸 法				
	受 桁	断 面 寸 法			
		応 力 度			
		た わ み ※ ¹			
	桁受け	断 面 寸 法			
		応 力 度			
	支持杭	断 面 寸 法			
		応 力 度			
		支 持 力			
仮橋工	設計荷重（対象車輛）				※ ² L／400（Lは支間）以下，2.5cm以下
	幅 員				
	支 間				
	覆 工 板 寸 法				
	主 桁	断 面 寸 法			
		応 力 度			
		た わ み ※ ²			
	横 桁	断 面 寸 法			
		応 力 度			
	橋 脚	断 面 寸 法			
		応 力 度			
		支 持 力			
特記事項					